

視点

View Point

ありよし りゅう
有吉 隆氏

公益社団法人長野青年会議所
2024年度理事長

株式会社NIKKOホールディングス 代表取締役

長野青年会議所は、70周年未来ビジョンに基づき、今年度は長野灯明まつり、長野びんずる、青少年育成を事業の3本柱として取り組みます。
71年目を迎えた今年度は、地域の皆様とのつながりに感謝し、そのご恩を返ししながら、新たな一歩を踏み出す年です。継承、継続すべきことと変えるべきことの取捨選択を覚悟をもって行い、青年世代にしかない視点をもって、地域課題を解決する新たな仕組みを提唱し、自らスターターとして実践していきます。

青年世代の視点で 地域課題を解決する新たな仕組みを



PROFILE
1988年10月8日生まれ。関西大学卒業後、2011年 ㈱ホテルオークラ神戸に入社。2014年 家業である冠婚葬祭業・サービス業を営む㈱NIKKOホールディングス及びブライト信州㈱入社後、2022年 代表取締役役に就任。2015年 長野青年会議所入会、2019年 副理事長、2023年 70周年事業実行委員長、2024年 理事長就任。

点を通して、地域課題を解決する新たな仕組みを提唱し、スターターとして実践し、さらに行政や他の団体に対して、もっと声を上げていくべきだと考えます。年初から暗いニュースがありましたが、こういう時だからこそ私たちが若者が元気よくまちのために活動することが求められていると思います。

長野JCCの事業の3本柱

—— 今年度はどんな事業に力を入れますか。
有吉 70周年未来ビジョンでも長野JCCの事業の3本柱とする、長野灯明まつりと長野びんずる、青少年育成に特に力を入れます。

長野びんずるは、昨年ようやくフルスペックでの開催が叶いましたが、コロナ禍がもたらした社会変容により、参加連の皆さんも市民の皆さんもまだコロナ前と同じ気分にはなり切れなかったようです。今年度は、以前のような賑わいに戻すような仕組みを検討していきます。

長野灯明まつりについては、このイベントがより地域に根ざし、地域の観光資源として経済活動を盛り上げられるように、今年度はナイアンティック社や任天堂とコラボして、ゲーム形式でチェックポ

イントを回遊しながら長野市の魅力を感じてもらう新たな仕掛けを用意しました。

青少年育成事業では、地域の宝である子供たちにさまざまなアプローチをします。まず、グローバルピース事業として、小学生を含めた子供たちと地域に暮らす外国人の子供たちとの交流の機会を設けます。文化や言語が違う子供たちが価値観を共有することで、グローバルな視点を幼少期から持つてもらうことが狙いです。

また、若者の県外流出を抑えるアプローチの一助として、大学生や専門学校生に向け郷土愛を醸成する取り組みを行うとともに、地域に根付く企業と一緒に学生に企業課題や地域課題を考えてもらう仕組みを考えています。

もう一つは、YOUNG JCI NAGANO PLAN 80〜Dream of Youthプロジェクト元年の試みとして、子供たちが未来に向かって夢を創造できるよう、原体験の機会を提供します。たとえば大学生が子供たちにスポーツや文化等を指導するような、子供たちが新しいことに挑戦する場を、まちを挙げてつくります。長野市の「みらいハッテン」プロジェクトとも連携することが可能な事業になりますので、早めに関係課と接触し、募集に向けた広報、仕組みづくり後の事業移管も含めて相談させていただきます。

つなぐに感謝し、
71年目の新たな一歩を

—— 長野青年会議所の2024年度理事長として抱負をお聞かせください。
有吉 昨年、長野青年会議所(以下、長野JCC)は70周年の節目を迎え、たくさんの方々とのつながりを再認識しました。そのつながりに感謝し、71年目の今年度は新たな一歩を踏み出します。そして、昨年度策定した70周年未来ビジョンの実現に向け、より具体的な絵を描き実行に移していきます。

私自身、長野JCCに入会して9年になりました。これまで多くの方とつながり、ご縁をいただきながら、自己成長とまちづくりの両面で大きな学びを得ました。理事長という役職をお預かりしたこの機会に、これまでの恩返しへの気持ちも込め、若いメンバーを牽引していきます。

2024年度のスローガンは「不易流行」

—— スローガン「不易流行」にはどんな思いを込められましたか。
有吉 ここ数年、長野JCCも会員の減少が課題となっており、またワークライフバランスへの関心が高まるように、会員の価値観も大きく変わってきています。これまでと同じことをしては、メンバーは付いてきません。意味があっても継続しているものは、その意味をすっかり伝えながら続ける一方、私たちはもっと革新的でよいはず。スリム化すべきもの、変えるべきものは、覚悟をもって変えていきます。

我々は青年団体です。青年世代にしかない視

長野JCCでの経験は人を成長させ社業に役立つ

—— 長野JCC内での取り組み、会員拡大についてどう考えですか。
有吉 会員数の減少やコロナ禍で会員間の交流が十分にできなかったこともあり、長野JCCで連携と受け継がれてきた伝統や機微を継承しきれなくなっています。今一度我々に求められているものの理解と浸透、リーダーシップの開発等、メンバーの意識醸成に注力する一年にします。

長野JCCは社会開発と個人開発の両方に関わる組織です。メンバーには、経営層だけでなくサラリーマンや飲食店等自営業の方など多様な人間がいます。互いに交流するなかで多様な価値観に触れ、人間関係を築き、社会奉仕の仕組みを学ぶことが、40歳を超え人生の勝負が本番を迎えたとき、きつと大きな糧となると信じています。

読者の皆さんの周りに入会対象者がいれば、積極的に長野JCCへ送り出してください。今年度も3月1日から5月末、9月1日から12月5日の間、新入会員を募集します。個人としても経営者としても一回り成長し、社業と地域社会に役立つ人間にしてお返しすることを約束します。

DATA
公益社団法人長野青年会議所
[設立] 1953(昭和28)年
[活動内容] まちづくり、ひとづくり、環境、福祉、国際交流、青少年育成
[所在地] 長野市七瀬中町276 (長野商工会議所3階)
[TEL] 026-228-3260

横顔
競馬のジョッキーになるのが夢で、中学から大学まで馬術に勤しみ、国体等優勝を経験。今は、3児の父として週末に息子さんのサッカーの試合の観戦に行くことが趣味。